



慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート (KGRI)
研究プロジェクト「アジア・太平洋地域のシステム：柔軟性・強靭性・安定性」
国際シンポジウム「アジアの安全保障と米国太平洋軍」

近年のアジアの安全保障は緊張度を高めています。日米安全保障条約はアジアの安全保障の基盤のひとつとして機能してきましたが、有事の際に米軍の指揮命令はハワイに司令部を置く米国太平洋軍 (USPACOM) によって担われます。従来、在日米軍 (USFJ) や在韓米軍 (USFK) についての研究は行われてきましたが、その上位に位置する米国太平洋軍についての研究は多くありませんでした。

慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート (KGRI) の研究プロジェクト「アジア・太平洋地域のシステム：柔軟性・強靭性・安定性」では、米国太平洋軍の組織と役割について調査研究を行ってきました。

今回のシンポジウムでは、「アジアの安全保障と米国太平洋軍」をテーマにこれまでの成果について議論します。東アジアおよび太平洋西岸地域が直面する現在の危機とは何か、この地域における安全保障システムはどのような構造によって支えられているのか、米国太平洋軍をキーワードに、その現状と行方を展望します。

■ 開催概要

日時：2018年3月2日（金）10:00-16:00（受付 9:30-10:00）

場所：慶應義塾大学三田キャンパス東館6階G-Lab

主催：慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート (KGRI)

対象：どなたでもご参加いただけます

使用言語：日本語・英語（同時通訳有）

参加費：無料

■ 参加方法

参加をご希望される方は、下記ウェブサイトの登録フォームより、事前の参加お申込みをお願いいたします。

<http://www.kgri.keio.ac.jp/news-event/041862.html>

（参加お申し込み受付終了：2018年3月1日 正午）

（お問い合わせ）

慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート (KGRI)

研究プロジェクト「アジア・太平洋地域のシステム：柔軟性・強靭性・安定性」

国際シンポジウム「アジアの安全保障と米国太平洋軍」事務局

20180302kgrisympo[at]sfc.keio.ac.jp

■プログラム（予定）

(9:30-10:00 受付)

10:00-10:10

開会挨拶

駒村 圭吾 (KGRI 所長、慶應義塾常任理事)

10:10-10:20

イントロダクション

土屋 大洋 (KGRI 副所長、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授)

10:20-10:50

基調講演 1

Denny Roy (Senior Fellow, The East-West Center)

10:50-12:20

パネル討論 1 「アジアの危機の高まりと米国太平洋軍」

Alexander L. Vuving (Professor, Daniel K. Inouye Asia-Pacific Center for Security Studies)

田中 靖人 (産経新聞台北支局長)

西野 純也 (慶應義塾大学法学部教授)

司会：八木 直人 (海上自衛隊幹部学校教官)

(12:20-13:30 昼食休憩)

13:30-14:00

特別講演

梶原 みづほ (KGRI 客員所員、元 APCSS 客員研究員)

14:00-15:30

パネル討論 2 「米国太平洋軍と日米関係」

荻野 剛 (内閣官房副長官補付（事態対処担当）参事官補佐)

小谷 哲男 (日本国際問題研究所主任研究員)

Brad Glosserman (多摩大学ルール形成戦略研究所客員教授)

司会：阿川 尚之 (慶應義塾大学名誉教授、同志社大学特別客員教授)

15:30-16:00

基調講演 2

Gary Roughead (元米国海軍作戦部長、フーバー研究所フェロー)